

清水高校生模擬議会

高校生議員 4 名から

一般質問



清水高校3年生が 町の発展を願い政策を提言

公務員などを志望する清水高校の3年生4名が「総合的な探求の時間『地域研修』」の一環として、10月18日、本会議場で模擬議会に臨みました。

清水高校生との模擬議会は、町政や議会活動への関心や理解を深める目的で開催したもので、今回で4回目の取り組みとなります。

高校としては、生徒が地域の未来に向けて課題を具体的に考察し、議員としてまちづくりに関する質問や意見を行うことで、将来、地域を担う人材として働く意欲を育むことを目的としています。高校生は模擬議会開催までの間に、観光協会の役員就任や公園遊具の塗

装ボランテニアなど地域での調査、研究に取り組むとともに、その成果を活かしたまちづくり案及び質問の作成、議会傍聴の活動に取り組んできました。議会議員との関わりについて

では、9月6日に議会運営委員会から一般質問へ向けた情報収集や質問の組み立て方、10月11日はリハーサルとして議員から再質問のポイント等についてアドバイスを受けました。

模擬議会当日は議場

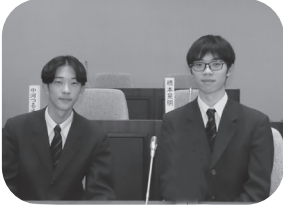


鋭い質問で議論を深める

において、阿部町長をはじめ副町長、教育長、課長職の出席のもと、山下議長による進行により、本会議と同様に議事が進められ、ユーチューブで生配信も行いました。

一般質問は2名ずつに分かれて行われ、「公園の整備について」、「清水町の観光について」の2項目について質問がありました。

各グループは、30分の持ち時間をいっぱいを使い、するどい質問や提案を投げかけ、理事者側からの答弁を引き出していました。



ささき りゅうた
佐々木 颯汰 議員 (写真左)

あべ こうた
阿部 倭太 議員 (写真右) からの質問

▶▶▶▶「公園の整備について」

問 本町の公園の多くは遊具が古く錆びていて、小さい子供を安全に遊ばせるのは難しいと感じています。そこで私達は、自分たちで遊具を塗りなおすことにしました。私達が塗った本通公園は、全ての遊具が錆びており、草刈りも行われていませんでした。公園の問題点について次のとおり質問します。

- (1) 公園の現状把握・点検頻度について
- (2) 点検項目・基準について
- (3) 管理・整備に関する予算について
- (4) 遊具の整備等について
- (5) ボランティアによる公園整備について

答 (1) 月2回の目視等による定期点検と日常巡視点検を行っている。多くの公園で遊具の老朽化が進んでいることから、必要な改修を順次進めている。(2) 点検に十分なチェック項目を定め、点検時に可動部のグリス補充と年4回の草刈りを実施している。(3) 総額6,517万2千円で管理している。(4) これまでも、遊具が安全に使えるよう適切に修繕を行ってきた。今後も現在策定中の都市計画マスタープランの中で、検討を進めていく。(5) 自主的な申出があった場合、柔軟に対応していく。

2つのグループから こんな **質問** がありました



たかはたけ ひな
高畠 雛 議員 (写真左)

かみや
神谷 まい 議員 (写真右) からの質問

▶▶▶▶「清水町の観光について」

問 私たちは観光協会理事として役員会への参加、観光地視察、物産展への参加などをしました。その中で、本町は豊かな観光資源を所持しているのにも関わらず、活気がないと感じました。札幌で特産品物産展を行った際、特産品を知っている方も多く、町の魅力は伝わっていると感じました。しかし十分とは言えません。

観光を活性化させるため、次のとおり質問します。

- (1) 4景+1の整備不足について
- (2) PRキャラクター「うっちゃん」について
- (3) SNSの活用について
- (4) 役場と観光協会の連携について
- (5) 町の魅力を伝えるターゲットについて

答 (1) 定期的に草刈りやごみ拾い、必要な整備を行っている。今後も維持管理に努める。(2) 「うっちゃん」は、ホームページやカントリーサイン、婚姻届け出用紙など、他にも様々な場面で活用している。今後もPRしていく。(3) 本年度、フェイスブックの投稿頻度を向上した。また、新たにInstagramを開設する。今後、公式ラインの導入も考えている。(4) 商工観光課が事務局を担っているため、協議内容は適宜把握している。年に一度、意見交換をする場も設けている。(5) 経済を守るという目的では購買力の高い人、地域の文化を守るという目的では高校生や町民、清水町にゆかりのある人たちをターゲットとしている。



模擬議会終了後、ほっとしたところで記念撮影

